

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	文化施設小委員会	主 査 名：浦部 智義 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：笈 淳夫
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化施設に関する情報収集・研究を継続的に行い、テーマを選定しシンポジウム、調査研究、見学会などを行う。 ・小委員会においては、建築計画学者、設計者、劇場コンサルタント、実際に管理運営に携わるホールスタッフなど、劇場・ホールやミュージアム等を様々な側面から見られるような委員構成を目指す。 ・東京圏のみでなく中部、関西、東北など、様々な地域の委員により成立させる。 ・特に 2014 年度は、今回の設置期間では社会的にも注目されている『地方のこれから』に注目した活動を目指している（研究企画例：地方におけるこれからの公立文化施設） 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：浦部智義（日本大学） 幹事：佐藤慎也（日本大学）、坂口大洋（仙台高等専門学校） 委員：大原一興（横浜国立大学）、勝又英明（東京都市大学）、小林徹也（シアターワークショップ）、上西明（上西建築都市設計事務所）、森田孝夫（徳島文理大学）、永井久夫（竹中工務店）、長谷川祥久（香山壽夫建築研究所）、早川典子（江戸東京たてもの園）、諸隈紅花（AHI）、大月淳（三重大学）、谷川大輔（近畿大学）、小川真樹（小川真樹建築総合計画）	
設置 WG (WG 名：目的)	文化施設小委員会の傘下に劇場・ホール WG とミュージアム WG の専門性の高い 2 つの WG を設置し、調査研究、勉強会等の事業を委員会と連携しながら実施する予定である。また各 WG にはコンサルタントなどの実務のノウハウを有するメンバーを中心に選定し、当該分野の詳細な事例収集を行える体制を設置する。	
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s19/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会『地方におけるこれからの公立文化施設』 (資料名) 同上 参加者数 75 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会の構成と開催頻度、その中での意見交換は概ね達成された。 2. 小委員会と2つのWGは密接な関係にあるが、WG 主動の勉強会・見学会を計5回行い、当初の目的通り連携した活動ができた。 3. 地方における文化施設を対象とした充実した研究会（避難訓練コンサート、見学会、シンポジウム）を開催し、当初の目的を達成した。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当該施設も老朽化・需要の変化等による建替え物件も多く、改修に関する継続的な調査研究が望まれる。関連して、建築的価値の高い施設の保存等。 2. 施設の枠を超えた課題の共有。 3. HP 等のメンテナンスや時に出版等も含めた活動を継続的に公開すること。 4. 多様化する「文化」に対する捉え方についての多角的な議論など。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。